

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第3週の発生動向

全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。
4類感染症：つつが虫病1例、レジオネラ症2例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	つつが虫病	中央	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
	レジオネラ症	都城	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
		小林	90歳代	女	肺炎型	下痢、肺炎、嘔吐、痰がらみ
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	肺炎
			60歳代	男	—	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症

《前週との比較》

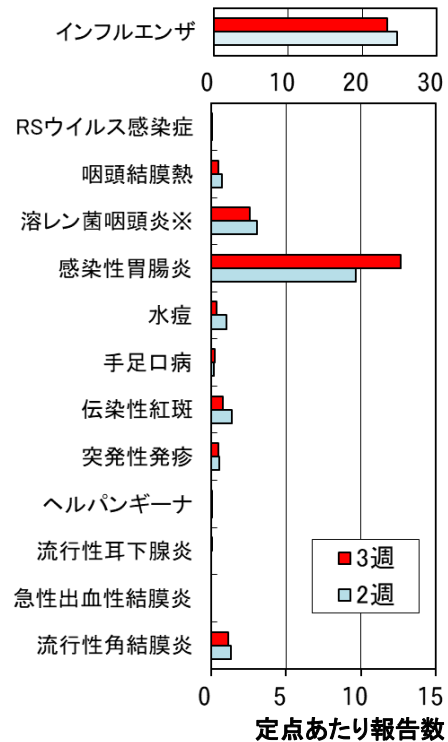
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,027人(定点当たり42.3)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と伝染性紅斑であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

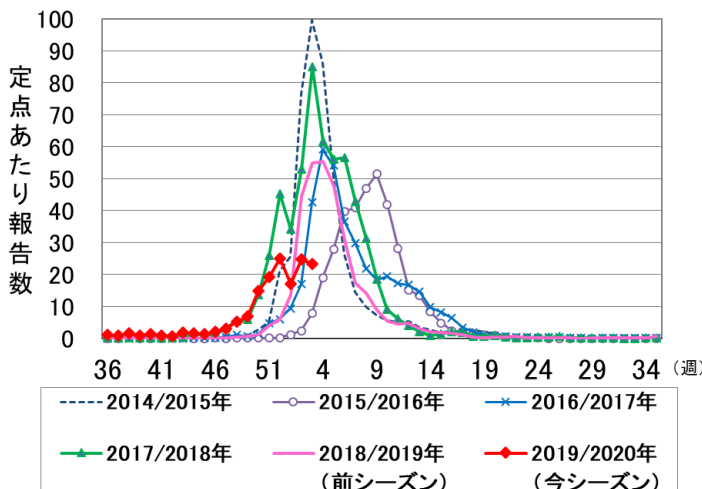
【インフルエンザ】

報告数は1,380人(23.4)で、前週比95%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(50.9)の約0.5倍であった。延岡(33.4)、都城(32.8)、日南(27.6)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めた。

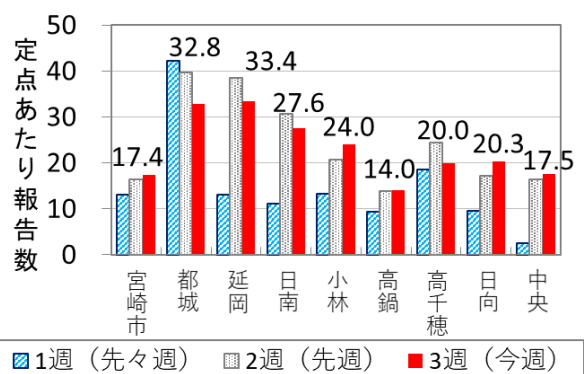


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 発生状況



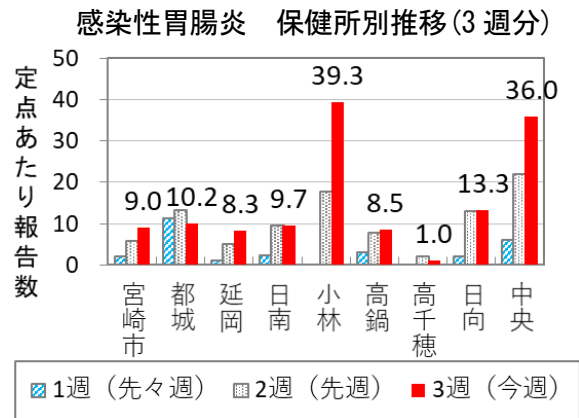
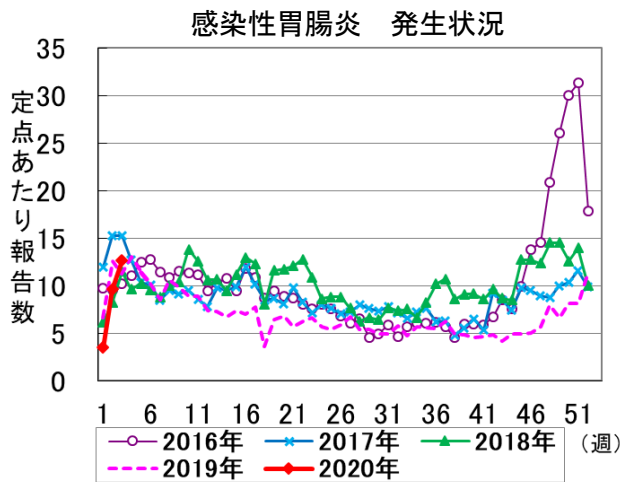
インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



【感染性胃腸炎】

報告数は455人(12.6)で、前週比131%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(11.7)の約1.1倍であった。小林(39.3)、中央(36.0)、日向(13.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では1～3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(17.4)
都城	インフルエンザ(32.8)
延岡	インフルエンザ(33.4)
日南	インフルエンザ(27.6)
小林	インフルエンザ(24.0)、 感染性胃腸炎(39.3)
高鍋	インフルエンザ(14.0)
高千穂	インフルエンザ(20.0)
日向	インフルエンザ(20.3)
中央	インフルエンザ(17.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、 感染性胃腸炎(36.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和2年1月20日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(OUT:HNM VT2)	5～9歳	男	2019.12.13	HUS	便	2020.01.08
Salmonella Typhi (O9:d:-)	20歳代	女	-	発熱(40.0℃)、便秘、脾腫、比較的徐脈	血液	2020.01.10

○20代の女性から *Salmonella Typhi* (O9: d :-) が分離された。腸チフスは、通常のサルモネラ感染症と異なり、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、便秘、脾腫、比較的徐脈などの症状を呈する全身性疾患である。また、腸チフスと同様に、パラチフスA菌によって起こるパラチフスも全身性疾患で全数報告対象(3類感染症)となっている。なお、チフス菌、パラチフス菌の同定は生化学的性状試験と血清型別試験で同定するのが原則であるが、これらの菌は生化学性状が一般のサルモネラとはかなり異なり、見慣れていない場合は同定に苦慮することが予想される。疑われる菌が分離され、同定に苦慮する場合は地方衛生研究所などの専門機関に問い合わせることが推奨される。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ライノウイルス	10歳代	男	2019. 11. 26	38.0℃、肺炎、咽頭炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020. 01. 14
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019. 12. 02	インフルエンザA型、38.2℃、気管支炎	鼻汁	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2019. 12. 03	インフルエンザA型、39.4℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019. 12. 05	急性咽頭炎、38.1℃	鼻腔ぬぐい液	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019. 12. 09	インフルエンザA型、39.2℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2019. 12. 09	インフルエンザA型、39.9℃、気管支炎	鼻汁	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30歳代	女	2019. 12. 10	インフルエンザA型、38.6℃、気管支炎、頭痛、咽頭痛	鼻汁	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019. 12. 11	インフルエンザA型、38.7℃、咽頭炎	鼻腔ぬぐい液	2020. 01. 09
インフルエンザウイルスAH1pdm09	60歳代	男	2019. 12. 12	インフルエンザA型、38.5℃	鼻腔ぬぐい液	2020. 01. 09

📊 全国 2020 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 2 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	352 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例
	腸チフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	25 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	37 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31 例	急性脳炎	23 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	79 例	水痘（入院例）	8 例
	先天性風しん症候群	1 例	梅毒	66 例	破傷風	2 例
	百日咳	139 例	風しん	9 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 170%と増加した(年未年始含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は 90,811 人(18.3)で前週比 132%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(24.5)の約 0.8 倍であった。愛知県(26.1)、佐賀県(25.8)、宮崎県(24.6)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,275 人(6.1)で前週比 338%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)とほぼ同率である。大分県(11.6)、福井県(10.1)、鹿児島県(9.7)からの報告が多く、年齢群別では 1～3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2019年12月>

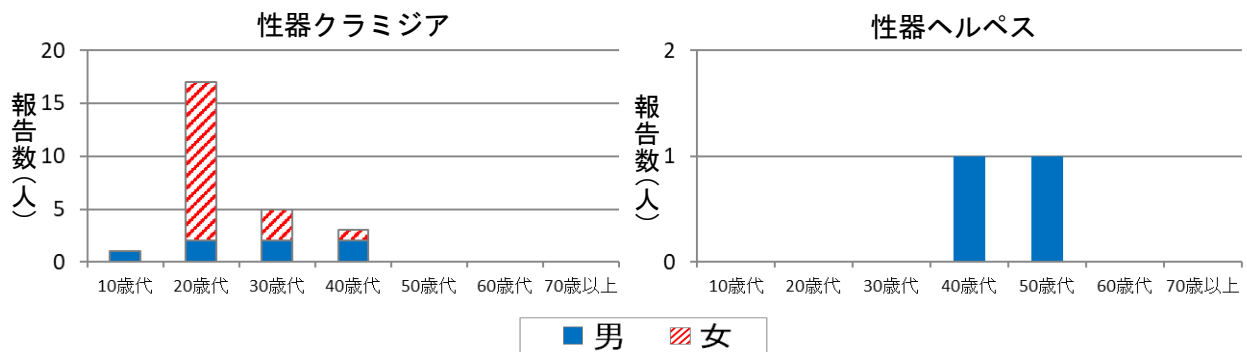
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月とほぼ同率であった。また、昨年12月(2.5)の87%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約1.5倍、昨年12月の約1.2倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性7人・女性19人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の約0.4倍、昨年12月とほぼ同率であった。(男性2人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告なし。



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は4,228人(4.3)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,283人(2.3)で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症793人(0.81)で前月比104%、尖圭コンジローマ478人(0.49)で前月比93%、淋菌感染症674人(0.69)で前月比115%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は10人(1.4)で、前月比72%と減少した。また、昨年12月(2.4)の59%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数10人(1.4)で、前月の約0.7倍、昨年12月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,443人(3.0)で、前月比96%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,294人(2.7)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症142人(0.3)で前月比103%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比25%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第03週(01月13日～01月19日)

疾病名		第2週	第3週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1454	1380	279	328	234	138	120	84	40	122	35
	定点当り	24.64	23.39	17.44	32.80	33.43	27.60	24.00	14.00	20.00	20.33	17.50
RSウイルス 感染症	報告数	1	1					1				
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	26	17	10	1	3		1			2	
	定点当り	0.72	0.47	1.00	0.17	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	110	93	28	14	12	19	1	8		3	8
	定点当り	3.06	2.58	2.80	2.33	3.00	6.33	0.33	2.00	0.00	0.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	347	455	90	61	33	29	118	34	1	53	36
	定点当り	9.64	12.64	9.00	10.17	8.25	9.67	39.33	8.50	1.00	13.25	36.00
水痘	報告数	38	13	6	2	3	2					
	定点当り	1.06	0.36	0.60	0.33	0.75	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	9	2	4						3	
	定点当り	0.19	0.25	0.20	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	51	29	15	4	3	1		1		5	
	定点当り	1.42	0.81	1.50	0.67	0.75	0.33	0.00	0.25	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	20	18	4	4		4	2	1		2	1
	定点当り	0.56	0.50	0.40	0.67	0.00	1.33	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	2					1			
	定点当り	0.06	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2			1						1
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	7	4	2	1						
	定点当り	1.33	1.17	1.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～3週)

2類感染症	結核	8例					
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例(1)	レジオネラ症	2例(2)	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(2)					

()内は今週届出分、再掲